



平成27年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月8日

上場会社名 株式会社ピクルスコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 2925 URL <http://www.pickles.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮本 雅弘
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長兼財務部長 (氏名) 三品 徹 TEL 04-2998-7771
 四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	20,440	3.8	890	29.2	933	18.5	392	△19.2
26年2月期第3四半期	19,691	7.4	688	△15.8	787	△9.7	485	△5.6

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 426百万円 (△17.0%) 26年2月期第3四半期 514百万円 (△0.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	63.88	—
26年2月期第3四半期	75.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第3四半期	15,886	7,446	46.8	1,220.25
26年2月期	14,403	7,339	50.9	1,146.90

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 7,436百万円 26年2月期 7,333百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	12.00	12.00
27年2月期	—	0.00	—		
27年2月期(予想)				12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	6.4	1,130	32.5	1,225	26.0	738	21.3	115.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー 社（社名） 、除外 ー 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期3Q	6,398,000株	26年2月期	6,398,000株
② 期末自己株式数	27年2月期3Q	303,514株	26年2月期	3,439株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期3Q	6,146,876株	26年2月期3Q	6,394,578株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融緩和などの各種政策による円安や株高により、景気回復への期待が高まっておりますが、新興国における経済成長の減速や、円安による原材料価格の上昇、消費税増税後の個人消費落ち込みなど、依然として厳しい状況が続いております。

食品業界においては、消費者の安全・安心への意識の高まりや低価格志向が続いており、フードディフェンスを含めた食の安全・安心への取り組み強化、円安による原材料価格高騰への対応などが求められておりますが、食の安全管理の徹底や食品原材料の安定確保以外にも、価格競争の激化、少子高齢化への対応など多くの課題があります。

このような状況のもと、当社グループは、全国の製造・販売拠点を活用した営業活動、CMなどの広告宣伝活動及び売場提案などの販売促進活動を積極的に実施し、既存得意先への拡販や新規取引先の開拓を行いました。製品開発面では、ホタテエキスのうま味がきいた「ご飯がススム ホタテでデカうまキムチ」、(株)くらこんの塩こんぶを使用した「ご飯がススム 塩こんぶ入りしば漬」及び(株)にんべんと共同開発したオリジナルの鰹だしを使用した浅漬シリーズなどを開発し、販売を行いました。また、主力商品の「ご飯がススムキムチ」及び「ご飯がススムキムチ辛口」を10月から妖怪ウォッチのキャラクターを配したパッケージに変更し販売いたしました。その他、食品メーカーと当社ブランドのコラボレーションについては、(株)湖池屋のスコーンなどで実施いたしました。

売上高につきましては、「ご飯がススムキムチ」などのキムチ製品や惣菜製品が好調に推移いたしました。利益面については、第2四半期においては長雨や日照不足による胡瓜などの原料野菜の仕入価格高騰がありました。第3四半期は原料野菜の仕入価格が安定しました。また、子会社である(株)ピクルスコーポレーション札幌においては許容量を超える生産により収益性が低下しましたが、その後業務見直し等を行い収益性が改善しております。なお、同社は6月に新工場が完成し移転いたしました。これにより、旧工場は固定資産の減損損失132百万円を特別損失に計上することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は20,440百万円（前年同四半期比3.8%増）、営業利益は890百万円（同29.2%増）、経常利益は933百万円（同18.5%増）、四半期純利益は392百万円（同19.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,482百万円増加し、15,886百万円となりました。これは主に現金及び預金、受取手形及び売掛金、有形固定資産の増加によるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べて1,375百万円増加し、8,439百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金、及び長期借入金の増加によるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べて106百万円増加し、7,446百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年2月期の業績予想につきましては、平成26年4月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,419,090	1,622,486
受取手形及び売掛金	2,333,484	3,088,187
商品及び製品	131,909	146,015
仕掛品	34,597	37,006
原材料及び貯蔵品	160,608	179,710
繰延税金資産	64,116	63,922
その他	93,336	66,406
貸倒引当金	△2,022	△2,869
流動資産合計	4,235,120	5,200,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,461,209	2,729,105
機械装置及び運搬具(純額)	613,652	885,742
土地	6,230,301	6,142,856
リース資産(純額)	84,055	64,107
建設仮勘定	46,410	—
その他(純額)	23,570	39,977
有形固定資産合計	9,459,199	9,861,789
無形固定資産	72,046	63,202
投資その他の資産		
投資有価証券	365,611	430,558
繰延税金資産	174,931	163,551
その他	97,308	166,084
貸倒引当金	△327	—
投資その他の資産合計	637,524	760,194
固定資産合計	10,168,771	10,685,186
資産合計	14,403,891	15,886,052

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,997,604	2,343,325
短期借入金	1,104,900	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	871,000	876,551
リース債務	43,387	43,437
未払法人税等	247,149	224,445
賞与引当金	88,149	36,265
役員賞与引当金	38,750	—
その他	729,442	1,053,467
流動負債合計	5,120,383	6,077,493
固定負債		
長期借入金	1,055,001	1,510,451
リース債務	80,723	48,236
繰延税金負債	9,749	14,246
退職給付引当金	270,007	273,723
役員退職慰労引当金	133,159	139,854
負ののれん	359,767	331,611
その他	35,284	43,863
固定負債合計	1,943,692	2,361,988
負債合計	7,064,076	8,439,481
純資産の部		
株主資本		
資本金	740,900	740,900
資本剰余金	669,100	669,100
利益剰余金	5,876,447	6,192,367
自己株式	△1,425	△244,485
株主資本合計	7,285,022	7,357,882
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,892	78,899
その他の包括利益累計額合計	48,892	78,899
少数株主持分	5,900	9,788
純資産合計	7,339,815	7,446,570
負債純資産合計	14,403,891	15,886,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
売上高	19,691,192	20,440,886
売上原価	15,130,329	15,565,835
売上総利益	4,560,862	4,875,050
販売費及び一般管理費	3,871,948	3,984,912
営業利益	688,914	890,137
営業外収益		
受取利息	2	111
受取配当金	3,367	3,934
負ののれん償却額	28,155	28,155
持分法による投資利益	23,763	5,019
受取賃貸料	12,875	23,341
事業分量配当金	6,469	3,752
貸倒引当金戻入額	28,690	-
その他	19,789	16,519
営業外収益合計	123,113	80,834
営業外費用		
支払利息	24,363	14,920
賃貸費用	-	17,778
その他	-	5,000
営業外費用合計	24,363	37,698
経常利益	787,664	933,274
特別利益		
投資有価証券売却益	999	-
補助金収入	12,988	27,553
その他	20	-
特別利益合計	14,008	27,553
特別損失		
固定資産処分損	579	23,379
減損損失	-	132,631
特別損失合計	579	156,011
税金等調整前四半期純利益	801,093	804,816
法人税等	317,091	408,321
少数株主損益調整前四半期純利益	484,001	396,495
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1,805	3,839
四半期純利益	485,807	392,655

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	484,001	396,495
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	30,012	30,054
その他の包括利益合計	30,012	30,054
四半期包括利益	514,013	426,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	515,850	422,661
少数株主に係る四半期包括利益	△1,836	3,888

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は平成26年10月16日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条第1項の規定に基づき、自己株式を取得することについて決議し、平成26年12月10日に自己株式の取得を以下のとおり実施いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応できる機動的な資本政策の遂行、資本効率の改善及び株主への利益還元を可能とするものであり、また、当社の成長をより重視した事業戦略を策定し、かつ、これに基づいた経営判断を実行することを可能とするために自己株式の取得を行うものです。

(2) 自己株式取得に関する事項の内容

①取得した株式の種類 普通株式

②取得した株式の総数 1,400,000株

(注) 発行済株式総数に対する割合 21.88% (小数点以下第三位を四捨五入)

③取得価額の総額 1,015,000千円

④取得した時期 平成26年12月10日決済

⑤取得方法 公開買付けの方法による

⑥資金調達方法 自己資金及び銀行借入金